

令和2年度 普通会計決算等のポイント

1. 令和2年度の財政運営と決算

令和2年度の当初予算編成にあたっては、『「行財政運営方針」後半期（H30～32）の取組』に沿って様々な収支対策を講じましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染拡大防止や医療提供体制の確保、地域経済の活性化など様々な対策が必要となりました。

そこで、当初予定していた事業の中止・見直しとともに、国の交付金を最大限活用することにより、最終的に令和2年度決算は318億1,100万円の黒字となりました。

なお、決算規模は3兆1,001億円となり、令和元年度と比較すると6,885億円の増加となっています。

※全国状況については、総務省の公表（速報値）ページをご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_gaiyo.html

2. 実質収支

令和2年度の実質収支額は318億1,100万円の黒字となりましたが、この中には今後国に返還が必要な「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の剰余額が220億5,400万円含まれており、これを除いた額は97億5,700万円で、前年度の95億6,600万円とほぼ同規模となっています。

なお、交付金控除後の決算額に対する黒字の割合は、0.31%と低い水準にあり、引き続き厳しい状況となっています。

3. 健全化判断比率

令和2年度決算に基づく算定においては、実質赤字比率と連結実質赤字比率は算出されず、実質公債費比率は19.6%、将来負担比率は325.6%となりました。

いずれの比率も早期健全化基準を下回っていますが、実質公債費比率及び将来負担比率ともに、全国的に見て最も悪い水準となっています。

この要因としては、これまで地方債を財源として、積極的に公共投資を実施してきたことや、収支不足を補てんするために行政改革推進債や退職手当債を発行してきたことにより、道債残高や償還額が多額となっていることが挙げられます。

※詳しくは、健全化判断比率等の公表ページをご覧ください。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zsi/new_kenzenka.html

※全国状況については、総務省の公表（速報）ページをご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01zaisei07_02000309.html

令和2年度 普通会計決算の状況(概要)

1 決算規模

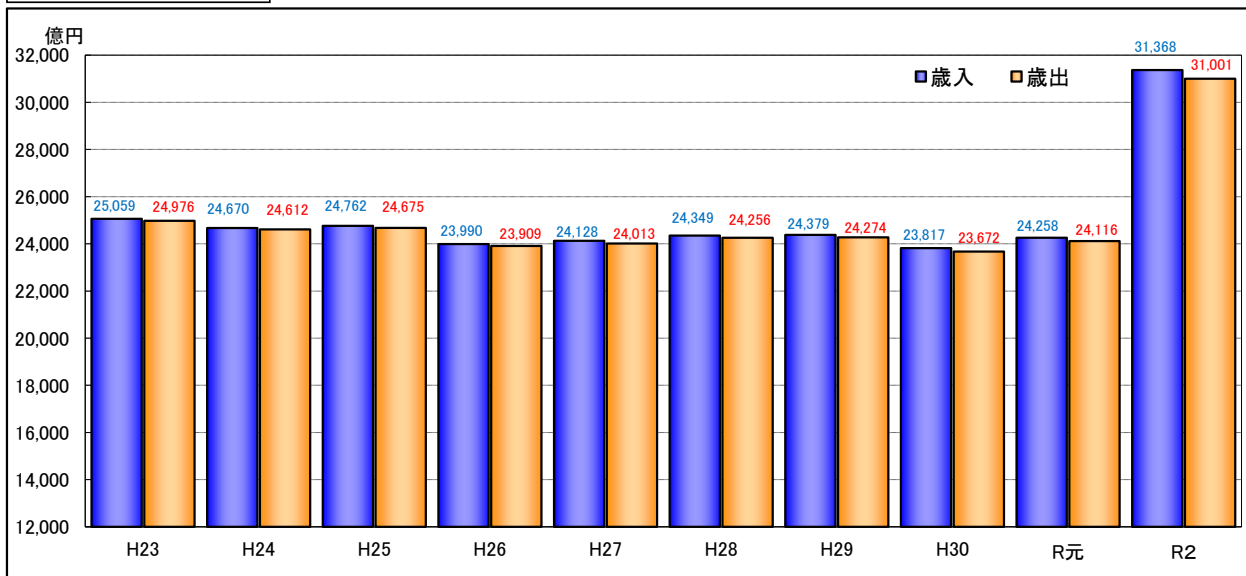
(単位：百万円)

| 区 分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 増 減 額 | 増減率 | 摘 要 |
|--------------|-----------|-----------|---------|-------|-------------------|
| 歳入決算額 | 3,136,839 | 2,425,830 | 711,009 | 29.3% | うち東日本大震災分1,542百万円 |
| 歳出決算額 | 3,100,102 | 2,411,637 | 688,465 | 28.5% | うち東日本大震災分1,542百万円 |
| 歳入歳出差引額 | 36,737 | 14,193 | 22,544 | | |
| 翌年度に繰り越すべき財源 | 4,926 | 4,627 | 299 | | |
| 実質収支 | 31,811 | 9,566 | 22,245 | | |
| 単年度収支 | 22,245 | 1,123 | 21,122 | | |
| 実質単年度収支 | 33,896 | 3,915 | 29,981 | | |

※表示単位未満四捨五入の関係で合計・差引が一致しない箇所がある。

- 歳入総額は3兆1,368億円で、前年度と比較すると7,110億円の増(+29.3%)となりました。
これは、新型コロナウイルス感染症対策のため国の交付金が創設されたことや、中小企業の資金繰り支援である「中小企業総合振興資金貸付金」に係る預託金の返納が増加したことが主な要因です。
- 歳出総額は3兆1,001億円で、前年度と比較すると6,885億円の増(+28.5%)となりました。
これは、前述した「中小企業総合振興資金貸付金」で4,500億円程度増加したほか、その他の新型コロナ対策として、感染症対策費や社会福祉関係経費が増加したことが主な要因です。
- 実質収支は、前年度と比較すると22億4,500万円増加して、318億1,100万円の黒字となりましたが、この中には今後国に返還が必要な「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の剰余額が220億5,400万円含まれており、これを除いた額は97億5,700万円で、前年度から1億9,100万円の増加となっています。
なお、交付金控除後の決算額に対する黒字の割合は0.31%と、引き続き低い水準となっています。

決算規模の推移



普通会計

普通会計とは、一般会計と特別会計（公営事業会計以外）を合わせたものであり、北海道では一般会計以外に、公債管理、母子父子寡婦福祉資金貸付事業、中小企業近代化資金貸付事業、苫小牧東部地域開発出資、石狩湾新港地域開発出資、就農支援資金貸付事業等、沿岸漁業改善資金貸付事業、林業・木材産業改善資金貸付事業、道営住宅事業、住宅供給公社経営健全化資金貸付事業の10特別会計をまとめて普通会計としています。

なお、単純に各会計の決算額を合算したものではなく、普通会計内の重複（繰入金、繰出金等）を控除するなどの整理をしています。

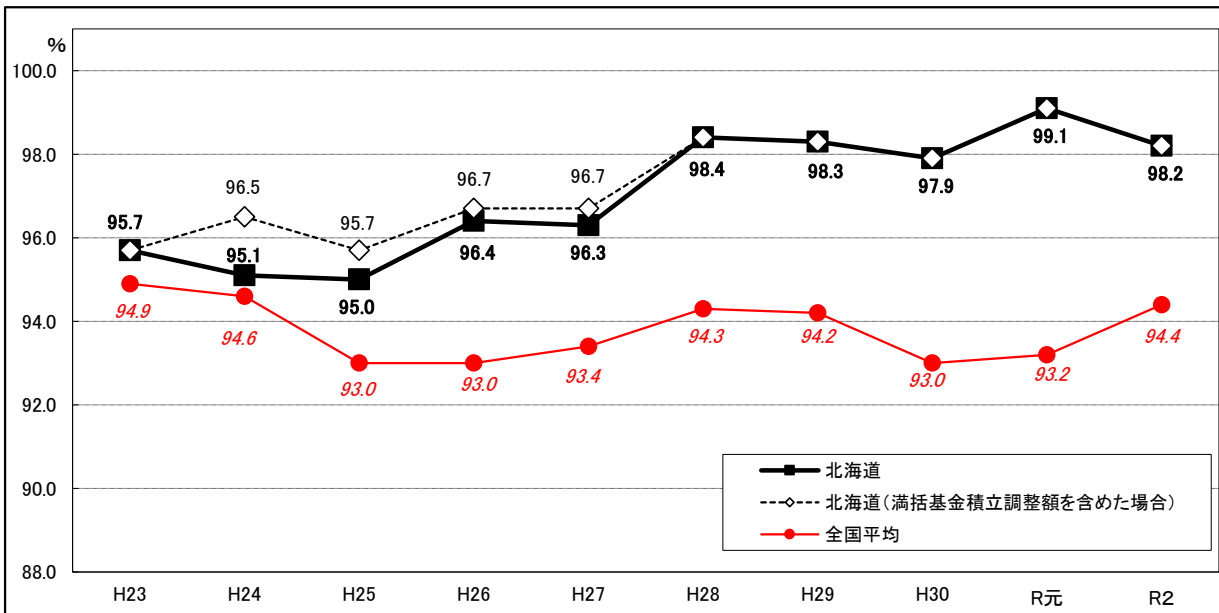
2 主な財政指標等

| 区 分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 増 減 | 摘 要 |
|------------|---------------|---------------|-----------|-----------------|
| 経常収支比率（％） | 98.2 | 99.1 | ▲ 0.9 | |
| 実質公債費比率（％） | 19.6 | 20.7 | ▲ 1.1 | |
| 財政力指数 | 0.46217 | 0.45493 | 0.00724 | |
| 標準財政規模（千円） | 1,353,652,203 | 1,344,611,193 | 9,041,010 | 臨時財政対策債発行可能額を含む |

＜経常収支比率＞

経常収支比率は、平成28年度に給与の独自縮減の緩和に伴う人件費の増加などの影響により、前年度より2.1ポイント上昇して以降ほぼ水準で推移した後、令和元年度に社会保障関係経費などの補助費の増加などにより1.2ポイント上昇しましたが、令和2年度は人件費や公債費が減少したことなどにより、前年度と比べて0.9ポイント減少しています。

経常収支比率の推移



財政指標

財政指標の説明は、以下のHP（総務省）などでご覧になることができます。

http://www.soumu.go.jp/main_content/000708458.pdf

<http://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/kenzenka/index2.html>

3 道債残高の状況等

(単位：百万円)

| 区 分 | | 令和2年度 | 令和元年度 | 増 減 額 | 摘 要 |
|-----|---------------|-----------|-----------|--------|-----------------------|
| 道債 | 道債残高 | 5,865,598 | 5,812,171 | 53,427 | |
| | 道民一人当たり残高(千円) | 1,130 | 1,112 | 18 | 各年度1/1日時点の住民基本台帳人口による |
| 基金 | 基金残高(積立基金) | 56,538 | 49,032 | 7,506 | 減債基金(満期一括償還分)を除く |
| | 道民一人当たり残高(千円) | 11 | 9 | 2 | 各年度1/1日時点の住民基本台帳人口による |

<道債残高>

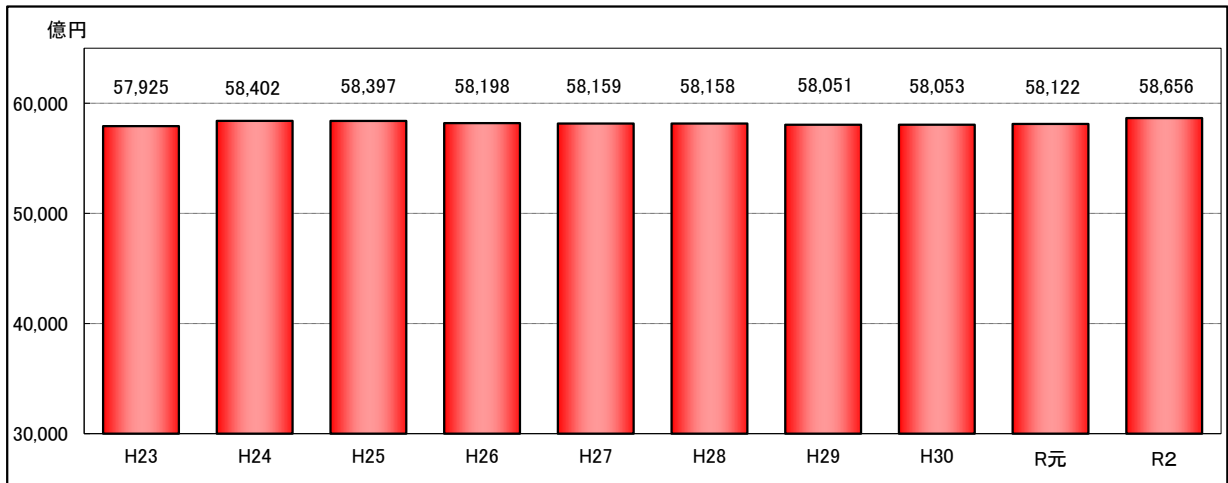
令和2年度においては、新規の道債発行額が3,934億円、元金償還額が3,400億円となったことから、道債残高は534億円増加し5兆8,656億円となっています。

<基金残高>

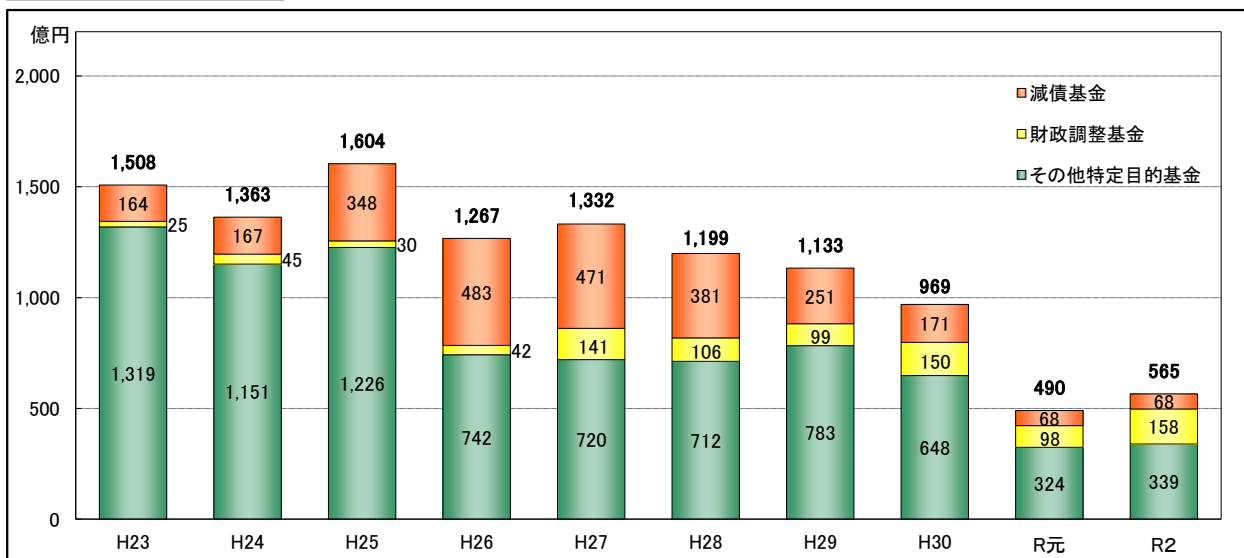
収支の均衡を図るために活用する財政調整基金、減債基金の合計残高は、令和2年度末で226億円となり、前年度より60億円の増となっています。

その他特定目的基金の合計残高は、令和元年度に森林整備担い手対策基金など6つの基金(合計331億円)を廃止したことなどにより大きく減少しましたが、令和2年度末は前年度から15億円増加し、339億円となっています。

道債残高の推移



基金残高の推移



※四捨五入のため、合計額と内訳の合算額が一致しない箇所があります。

令和2年度 普通会計決算 歳入歳出の内訳

1 歳入の状況

(単位：千円)

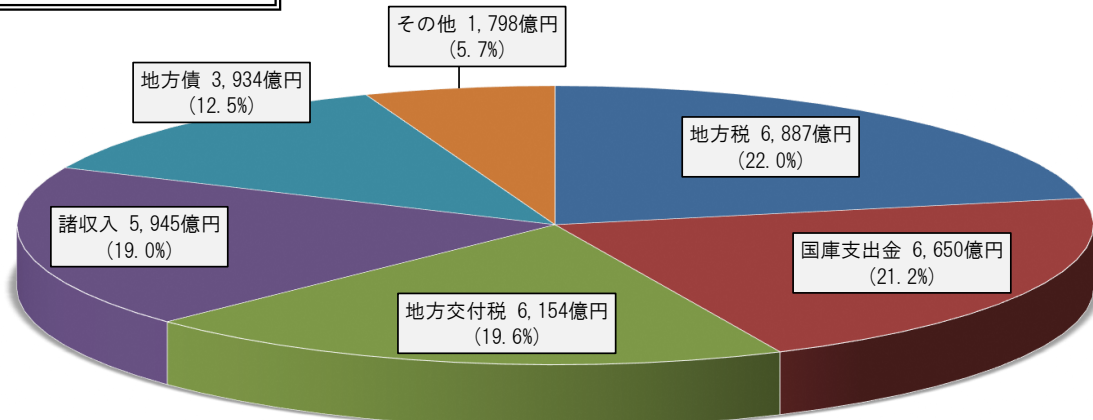
| 区 分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 額 | 増減率 |
|-----------------------|---------------|--------|---------------|--------|--------------|----------|
| | 決 算 額 | 構成比 | 決 算 額 | 構成比 | | |
| 地 方 税 | 688,657,106 | 22.0% | 667,833,580 | 27.5% | 20,823,526 | 3.1% |
| 地 方 譲 与 税 | 89,136,496 | 2.8% | 96,467,913 | 4.0% | ▲ 7,331,417 | ▲ 7.6% |
| 地 方 特 例 交 付 金 | 2,660,158 | 0.1% | 5,263,818 | 0.2% | ▲ 2,603,660 | ▲ 49.5% |
| 地 方 交 付 税 | 615,432,417 | 19.6% | 608,954,758 | 25.1% | 6,477,659 | 1.1% |
| 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 1,247,303 | 0.0% | 1,137,991 | 0.0% | 109,312 | 9.6% |
| 分 担 金 及 び 負 担 金 | 23,725,997 | 0.7% | 21,578,933 | 0.9% | 2,147,064 | 9.9% |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 26,759,875 | 0.9% | 27,961,312 | 1.2% | ▲ 1,201,437 | ▲ 4.3% |
| 国 庫 支 出 金 | 664,996,978 | 21.2% | 399,795,210 | 16.5% | 265,201,768 | 66.3% |
| 財 産 収 入 | 5,975,525 | 0.2% | 13,442,378 | 0.6% | ▲ 7,466,853 | ▲ 55.5% |
| 寄 附 金 | 1,409,514 | 0.0% | 84,573 | 0.0% | 1,324,941 | 1,566.6% |
| 繰 入 金 | 14,713,308 | 0.5% | 64,180,480 | 2.6% | ▲ 49,467,172 | ▲ 77.1% |
| 繰 越 金 | 14,192,729 | 0.5% | 14,462,416 | 0.6% | ▲ 269,687 | ▲ 1.9% |
| 諸 収 入 | 594,546,060 | 19.0% | 145,933,599 | 6.0% | 448,612,461 | 307.4% |
| うち貸付金元利収入 | 578,012,920 | 18.4% | 128,429,727 | 5.3% | 449,583,193 | 350.1% |
| 地 方 債 | 393,385,898 | 12.5% | 358,733,250 | 14.8% | 34,652,648 | 9.7% |
| うち減収補てん債特例分 | 19,793,000 | 0.6% | 3,535,000 | 0.1% | 16,258,000 | 459.9% |
| うち臨時財政対策債 | 79,133,198 | 2.5% | 86,395,950 | 3.6% | ▲ 7,262,752 | ▲ 8.4% |
| 合 計 | 3,136,839,364 | 100.0% | 2,425,830,211 | 100.0% | 711,009,153 | 29.3% |

【主な増減要因】

- ◆ 地 方 税 地方消費税（清算後）の増
- ◆ 地 方 譲 与 税 地方法人特別譲与税の減
- ◆ 地方特例交付金 子ども・子育て支援臨時交付金（幼児教育・保育の無償化）の減
- ◆ 地 方 交 付 税 普通交付税の増
- ◆ 国 庫 支 出 金 新型コロナウイルス感染症対策関係交付金の増
- ◆ 財 産 収 入 土地売払収入、株券売払収入の減
- ◆ 繰 入 金 令和元年度繰替運用の解消のため行った基金繰入の反動減
- ◆ 諸 収 入 貸付金元利収入（中小企業総合振興資金貸付金）の増
- ◆ 地 方 債 減収補てん債特例分、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債の増

歳入の構成

歳入 3兆1,368億円



2 歳出（目的別）の状況

（単位：千円）

| 区 分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 額 | 増減率 |
|-------------|---------------|--------|---------------|--------|--------------|---------|
| | 決 算 額 | 構成比 | 決 算 額 | 構成比 | | |
| 総 務 費 | 116,643,711 | 3.8% | 138,646,884 | 5.7% | ▲ 22,003,173 | ▲ 15.9% |
| 民 生 費 | 425,840,228 | 13.8% | 390,184,853 | 16.2% | 35,655,375 | 9.1% |
| 衛 生 費 | 220,467,555 | 7.1% | 60,889,107 | 2.5% | 159,578,448 | 262.1% |
| 労 働 費 | 6,148,094 | 0.2% | 5,426,158 | 0.2% | 721,936 | 13.3% |
| 農 林 水 産 業 費 | 283,238,692 | 9.1% | 297,915,341 | 12.3% | ▲ 14,676,649 | ▲ 4.9% |
| 商 工 費 | 602,722,924 | 19.4% | 112,914,654 | 4.7% | 489,808,270 | 433.8% |
| 土 木 費 | 337,862,418 | 10.9% | 303,678,562 | 12.6% | 34,183,856 | 11.3% |
| 警 察 費 | 131,411,811 | 4.2% | 131,644,015 | 5.5% | ▲ 232,204 | ▲ 0.2% |
| 教 育 費 | 436,217,223 | 14.1% | 427,936,846 | 17.7% | 8,280,377 | 1.9% |
| 災 害 復 旧 費 | 22,056,753 | 0.7% | 33,068,395 | 1.4% | ▲ 11,011,642 | ▲ 33.3% |
| 公 債 費 | 369,902,366 | 11.9% | 387,230,491 | 16.1% | ▲ 17,328,125 | ▲ 4.5% |
| そ の 他 | 147,590,684 | 4.8% | 122,102,176 | 5.1% | 25,488,508 | 20.9% |
| 合 計 | 3,100,102,459 | 100.0% | 2,411,637,482 | 100.0% | 688,464,977 | 28.5% |

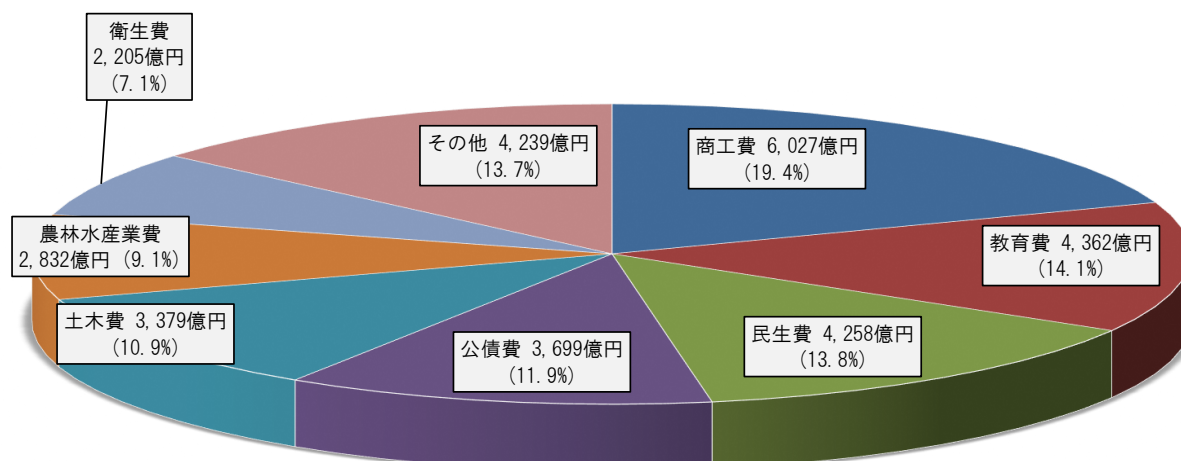
※目的別の公債費には、物件費（割引料、事務的な経費）を含むため、性質別の公債費の額と一致していません。

【主な増減要因】

- ◆総 務 費 普通建設事業費（道議会新庁舎整備費等）、基金繰出金の減
- ◆民 生 費 生活福祉資金貸付事業費の増
- ◆衛 生 費 新型コロナウイルス感染症対策経費（感染拡大防止、病床確保等）の増
- ◆農 林 水 産 業 費 令和元年度繰替運用の解消のため行った基金繰出の反動減
- ◆商 工 費 中小企業総合振興資金貸付金の増
- ◆土 木 費 公共事業関連予算、北海道新幹線整備費負担金等の増
- ◆教 育 費 普通建設事業費（札幌医科大学施設整備費等）の増
- ◆災 害 復 旧 費 公共土木施設災害復旧費（河川、道路）の減
- ◆公 債 費 定時償還額の減
- ◆そ の 他 税関係市町村交付金（地方消費税交付金等）の増

歳出の構成

歳出 3兆1,001億円



3 歳出（性質別）の状況

（単位：千円）

| 区 分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 額 | 増減率 |
|---------------|---------------|--------|---------------|--------|--------------|---------|
| | 決 算 額 | 構 成 比 | 決 算 額 | 構 成 比 | | |
| 義 務 的 経 費 | 986,245,236 | 31.9% | 1,015,868,369 | 42.2% | ▲ 29,623,133 | ▲ 2.9% |
| 人 件 費 | 557,130,495 | 18.0% | 568,272,117 | 23.6% | ▲ 11,141,622 | ▲ 2.0% |
| 扶 助 費 | 60,749,622 | 2.0% | 61,780,858 | 2.6% | ▲ 1,031,236 | ▲ 1.7% |
| 公 債 費 | 368,365,119 | 11.9% | 385,815,394 | 16.0% | ▲ 17,450,275 | ▲ 4.5% |
| 投 資 的 経 費 | 541,661,300 | 17.4% | 517,743,696 | 21.4% | 23,917,604 | 4.6% |
| 普 通 建 設 事 業 費 | 519,625,665 | 16.8% | 485,926,819 | 20.1% | 33,698,846 | 6.9% |
| 災 害 復 旧 事 業 費 | 22,035,635 | 0.7% | 31,816,877 | 1.3% | ▲ 9,781,242 | ▲ 30.7% |
| そ の 他 の 経 費 | 1,572,195,923 | 50.7% | 878,025,417 | 36.4% | 694,170,506 | 79.1% |
| 物 件 費 | 69,552,544 | 2.2% | 59,037,782 | 2.4% | 10,514,762 | 17.8% |
| 維 持 補 修 費 | 38,911,952 | 1.3% | 26,749,314 | 1.1% | 12,162,638 | 45.5% |
| 補 助 費 等 | 833,350,317 | 26.9% | 583,079,629 | 24.2% | 250,270,688 | 42.9% |
| 積 立 金 | 21,090,077 | 0.7% | 13,641,726 | 0.6% | 7,448,351 | 54.6% |
| 投 資 及 び 出 資 金 | 261,611 | 0.0% | 1,847,363 | 0.1% | ▲ 1,585,752 | ▲ 85.8% |
| 貸 付 金 | 578,724,771 | 18.7% | 127,764,836 | 5.3% | 450,959,935 | 353.0% |
| 繰 出 金 | 30,304,651 | 1.0% | 65,904,767 | 2.7% | ▲ 35,600,116 | ▲ 54.0% |
| 合 計 | 3,100,102,459 | 100.0% | 2,411,637,482 | 100.0% | 688,464,977 | 28.5% |

【主な増減要因】

◆ 義務的経費

人 件 費 職員給、退職金の減
公 債 費 定時償還額の減

◆ 投資的経費

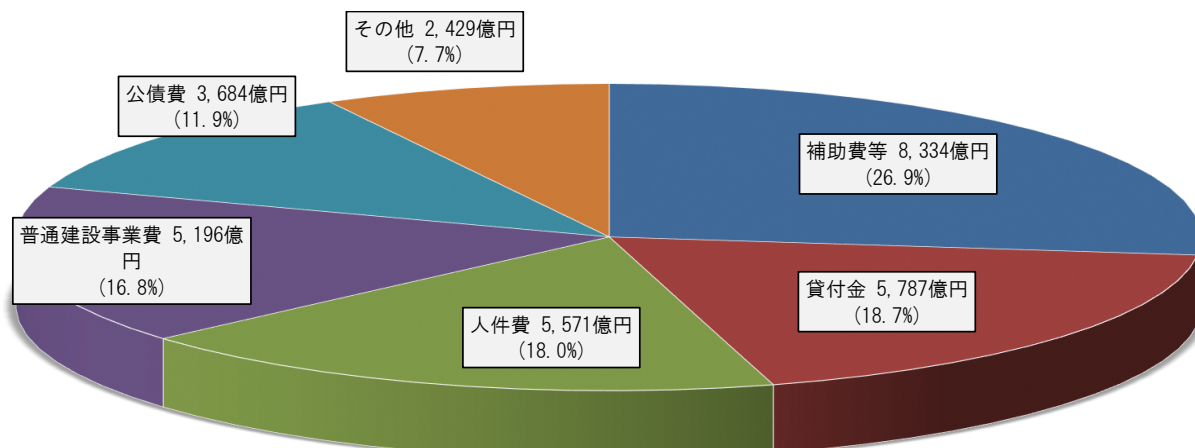
普通建設事業費 公共事業関連予算、北海道新幹線整備費負担金の増
災害復旧事業費 公共土木施設災害復旧費（河川、道路）の減

◆ その他の経費

補助費等 新型コロナウイルス感染症対策経費（感染拡大防止、病床確保等）の増
税関係市町村交付金（地方消費税交付金等）の増
貸付金 中小企業総合振興資金貸付金の増
繰出金 令和元年度繰替運用の解消のため行った基金繰出の反動減

歳出の構成

歳出 3兆1,001億円



4 引上げ分の地方消費税収が充てられる社会保障関係経費

[歳入] 引上げ分の地方消費税収 637億円
 (社会保障財源化分の市町村交付金を除く。)

[歳出] 社会保障施策に要する経費 4,528億円

| | | | |
|---|------|-----------------|----------|
| { | 社会福祉 | 1,878億円 (うち一般財源 | 1,202億円) |
| | 社会保険 | 2,292億円 (うち一般財源 | 2,221億円) |
| | 保健衛生 | 358億円 (うち一般財源 | 238億円) |

引上げ分の地方消費税収が充てられた経費

(単位：億円)

| 項 目 | | R 2 決算 |
|------------------|--------------|--------|
| 基礎年金拠出金 | | 19 |
| 人づくり革命 | 幼児教育無償化 | 62 |
| | 処遇改善(介護等) | 13 |
| | 高等教育無償化 | 8 |
| | 小 計 | 83 |
| 社会保障の充実 | 子ども・子育て支援の充実 | 194 |
| | 保険料軽減の拡大等 | 68 |
| | 特定疾患の対象拡大 | 9 |
| | 医療介護の確保等 | 34 |
| | 小 計 | 305 |
| 既定社会保障経費の安定財源の確保 | | 230 |
| 合 計 | | 637 |